

第 20 回 2022 年度定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会中部支部は、2022 年 4 月 26 日(火)、18 時 30 分から 19 時 20 分まで、名古屋市東区葵一丁目 3 番 27 号名古屋市芸術創造センター 大会議室 において 2022 年度第 20 回定時支部社員総会を開催した。

定刻になり、支部長丹羽功が議長席に着き開会を宣し、次の通り定数を超える社員の出席があり、本総会が適法に成立していることを告げ議事に入った。

場 所: 名古屋市芸術創造センター 大会議室

議決権総数:48、定足数:25、本日の出席社員総数: 31 名(委任 26 名) <80.6%>

議長は本総会の「議案書」を提示して「はじめに」を朗読し、第 1 号議案より逐条的に朗読して提案する旨を告げ、審議を行った。

第 1 号議案 2021 年度 事業報告

(1)シリーズ事業【1】機器展(プロ音響機器フェア in NAGOYA 2021)

2021 年度の開催は諸般の事情を検討の結果中止した。

2020 年 4 月、コネクト実行委員会が実施する展示会におけるスピーカ試聴(ホール)ブース進行等について依頼があり、本事業の代替として、協力することとしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催者の自粛により中止となった。

(2)シリーズ事業【2】舞台音響技術ワークショップ

新型コロナウイルス感染症防止のため、名古屋市芸術創造センターと協議の結果中止とした。

(3)音響セミナー等実行委員会

音響セミナー「Dante 上級技術セミナー」

新型コロナウイルス感染症防止のため、運営委員会にて協議の結果中止とした。

(4)SET名古屋(音響家技能認定講座「ビギナーズコース」)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の健康と安全を第一に考慮し、今年の開催を中止とした。

(5)会員の交流と親睦を図る見学会等

中部支部会員 リモート交流会

＝2021 年 7 月 13 日(火) 21:00～22:00 Webex を利用した会員相互の交流＝

(6)出版編集サウンド A&T 特集企画編集等

(7)会議等(定時支部社員総会・運営委員会)

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第 2 号議案以下の審議を継続した。

第 2 号議案 2021 年度 決算報告

会計担当役員が欠席のため大矢副支部長が代理で本議案書別紙を提示して報告した。

■別紙 付属明細書 2021 年度収支計算書(決算)の通り。

第 3 号議案 2021 年度 監査報告

吉田廣嗣監査が 2021 年度の運営委員の職務執行の状況及び議案書の事業報告並びに決算報告書について監査し、書面で提出した「監査報告書」を朗読して報告した。

■別紙中部支部監査機関による「監査報告書」の通り。

議長は、以上の 2 議案について提案した後、質疑及び討議を促し、2 議案をまとめて承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第 4 号議案以下の審議を継続した。

第4号議案 2020年度 中部支部事業計画

(1)シリーズ事業【1】「機器展」

事業名:CNONNECT2022【プロ音響機器フェア in NAGOYA 2022】(倉地実行委員長)

事業概要: CONENECT2022 実行委員会への協力 スピーカ試聴会卓オペレート 受付等場内整理等
中京地区の音響関係者に、各社の最新のプロ音響機器の情報並びに各社推奨スピーカの実聴体験と最新の機器を実感できる機会を提供する。

開催予定日時: 2022年4月18日(月)19日(火)

開催予定場所: ウィンクあいち

事業内容 :スピーカ試聴会の音響卓オペレート及び会場整理サポート

実行委員:犬塚裕道、大矢英和、奥山陽一、倉地秀和、櫻井博司、丹羽 功、松島大樹

(2)シリーズ事業【2】「邦楽セミナー」

・2022年度事業として社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

(3)会員のための「音響セミナー」「音響サロン」の開催

・2022年度事業として社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

(4)SET名古屋の開催

・2022年度事業として、本部事業委員会と共催して「音響家技能認定講座ビギナーズコース」を企画実施する。

開催時期:2022年11月30日(水)

場 所:名古屋市昭和文化小劇場

事業内容:協会のカリキュラムによる技能認定講座。

本部に依頼し「ビギナーズコース」を開催する。

講師・スタッフについては中部支部で選任する。実行委員長は大矢英和氏とする。

但し社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

(5)会員相互の交流を促す「見学会」「親睦会」等の開催

・2022年度事業として、福利厚生委員会は「懇親会」を企画実施する。

「中部支部会員 リモート忘年会」

事業名:「中部支部会員 リモート忘年会」

開催時期:「12月(予定)」

事業内容:「オンラインコミュニケーションツール Webex を利用した会員相互の交流」

社会情勢によっては、オンラインではなく店舗での開催も検討する。

(6)編集委員会

編集委員会の2022年度編集方針は、次の通りとする。

- ・機関紙特集 運営委員会の協議を基に中部支部編集コンセプトに則したテーマを選定する。
- ・SEAS Plaza、耳袋への投稿について
- ・協会参加意識高揚の一つの手段として会員に対し、より積極的な方法で寄稿を呼びかける。
- ・協会のFB欄を意見交換の場として情報の発信を提案する

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第5号議案以下の審議を継続した。

第5号議案 2022年度 収支予算

本議案書の別紙収支計算書を提示して報告した。

■別紙 付属明細書 2022年度収支計算書(予算案)の通り

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員かの拍手を以って承認した。引き続き第6号議案以下の審議を継続した。

第6号議案 2022年度 役員改選

2021年度支部役員(運営委員・監査)及び支部推薦理事(本部役員)の全員が任期(2年)を満了したため、2022年度支部役員及び支部推薦理事を選任する。

◎ 任期を満了する役員

運営委員: 浅野芳夫、犬塚裕道、内原昭弘、大矢英和、奥山陽一、川島善信、倉地秀和、佐藤孝郎、竹淵知博、
丹羽 功、松島大樹、溝口修一、武藤美喜

監 査: 吉田廣嗣

支部顧問: 木枝義雄

支部推薦理事: 犬塚裕道

◎ 選任する 2022 年度役員

・支部役員

運営委員: 浅野芳夫(重任)、犬塚裕道(重任)、内原昭弘(重任)、大矢英和(重任)、奥山陽一(重任)、
川島善信(重任)、倉地秀和(重任)、佐藤孝郎(重任)、竹淵知博(重任)、丹羽 功(重任)、
松島大樹(重任)、溝口修一(重任)、武藤美喜(重任)

監 査: 吉田廣嗣(重任)

支部顧問: 木枝義雄(重任)

・本部役員

支部推薦理事: 犬塚裕道(重任)

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

以上

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は 19 時 20 分に閉会を宣した。以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。


2022 年 4 月 26 日

一般社団法人日本音響家協会 中部支部支部長 丹羽 功 印

議事録作成者 事務局長 溝口 修一

2022年4月26日

(一社) 日本音響家協会中部支部
支部長 丹羽功 様

(一社) 日本音響家協会中部支部
監査 吉田廣嗣 

監査報告

定款施行細則第59条により、中部支部の2021年度(自2021年4月1日、至2022年3月31日)の事業報告及び決算報告を監査したので下記の通り報告します。

記

1、監査の方法

2021年度の運営委員会、及び各種事業に参加し、2021年度の各種事業報告書、各種報告書及び運営委員会議事録などを閲覧して運営委員の業務執行の状況を監査した。また、2022年4月15日に名古屋市青少年文化センターに於いて、会計浅野芳夫氏の提示した会計書類などを精査して2021年度の会計を監査した。

2、業務監査

2021年度特筆すべき事項は、昨年につきコロナウィルス対応に迫られる1年であった。

(1) 事業報告書

運営委員会が、各担当委員より提出された事業報告書を承認しており、各事業別に執行状況と総括の要旨を議案書に記載して適正に事業報告および決算報告がなされている。

(2) 運営委員の業務の執行

支部長を中心に各業務が執行され、順調に遂行されている。

(3) 会議の運営

① 支部社員総会について

支部社員総会の招集手続きは、従来通り「往復はがき」により必要事項を記載し、返信はがきと電磁的方法による出欠の確認と委任状の提出で会員の議決権を保証している。また、会議の議事についても、適正に遂行され、議事録も適切に残している。

② 運営委員会について

各委員各自の主業務の繁忙等により、出席率の低下が気になるところであるが、事務局長が議案書を作成して招集するとともに、電磁的方法による出欠確認と委任手続を行い、無届欠席の防止が図られている。また、コロナウィルス対策として、Web会議を実施し、会議後は適切に会議報告がなされている。

